

特別養子縁組成立の申立てについて

家庭裁判所

はじめに

特別養子縁組は、父母による監護が著しく困難であるなどの場合において、養子となる未成年者（原則として15歳未満の子）の福祉のために特に必要があると認められるときに、家庭裁判所の審判によって成立させるものです。養子となる者は、特別養子適格の確認の審判（養親となる者のほか、児童相談所長も申立てをすることができます。）を受けた者でなければなりません。養親となる者が特別養子適格の確認の申立てをする場合、本申立てと同時にする必要があります。

申立てに当たって必要なもの

申立書・・・必要事項を記入したもの

収入印紙・・・養子1人につき800円分（申立書に貼る。）

郵便切手・・・___円切手___枚, ___円切手___枚, ___円切手___枚

添付書類・・・（同じ書類は1通で足りります。）

○養親となる者の戸籍謄本（全部事項証明書）

※児童相談所長が特別養子適格の確認の申立てを行っている場合は、以下の資料も提出してください。

○養子となる者の戸籍謄本（全部事項証明書）

○養子となる者の実父母の戸籍謄本（全部事項証明書）

○児童相談所長の申立てによる特別養子適格の確認の審判の確定証明書（既に確定している場合）

※審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。

申立書の記入について

この説明書及び裏面の記入例を参考にしてください。

申立人について

申立人は、養親となる者です。

記入例 児童相談所からあっせんを受けた里子を特別養子とする場合

申立書を提出する裁判所（養親となる者の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印		特 別 養 子 縁 組 申 立 書	
		（この欄に収入印紙800円分を貼ってください。）	
収入印紙	円		
予納郵便切手	円	（貼った印紙に押印しないでください。）	

準口頭		関連事件番号 令和 年(家)第 号
-----	--	-------------------

○ ○ 家 庭 裁 判 所 御 中	申 立 人 ら (養親となる者)	甲 山 乙 郎	(印)
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日	の 記 名 押 印	甲 山 丙 子	(印)

添 付 資 料
(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 申立人ら（養親となる者）の戸籍謄本（全部事項証明書） <input type="checkbox"/> ※児童相談所長が特別養子適格の確認の申立てを行っている場合は、以下の資料も提出してください。 <input type="checkbox"/> 養子となる者の戸籍謄本（全部事項証明書） <input type="checkbox"/> 養子となる者の実父母の戸籍謄本（全部事項証明書） <input type="checkbox"/> 児童相談所長の申立てによる特別養子適格の確認の審判の確定証明書（既に確定している場合）

特別養子適格の確認の審判事件の申立状況
① 申立人らが同時申立て ② 児童相談所長が申立て（事件の表示及び事件の進行状況も記載してください。） 事件の表示： 家庭裁判所 支部・出張所 令和 年(家)第 号 上記事件の進行状況： 1 係属中 2 確定(令和 年 月 日確定)

当 事 者 及 び 関 係 者
別紙「当事者及び関係者目録」記載のとおり

申 立 て の 趣 旨
養子となる者を申立人らの特別養子とするとの審判を求める。

申 立 て の 理 由
(申立ての動機・事情等)
別紙「申立ての理由」記載のとおり

申 立 人 ら の 生 活 状 況 等
別紙「申立人らの生活状況等」記載のとおり

(注) 太枠の中だけ記入してください。

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください（携帯電話でも構いません。）。
裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(別紙)

当事者及び関係者目録		
申立人ら	住所	〒000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町0丁目0番0号 ()方
	フリガナ氏名 (養父となる者)	コウ ヤマ オツ ロウ 甲山 乙郎 昭和 平成 〇年〇月〇日生 (〇〇歳)
	フリガナ氏名 (養母となる者)	コウ ヤマ イ コ 甲山 丙子 昭和 平成 〇年〇月〇日生 (〇〇歳)
養子となる者	住所	〒000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町0丁目0番0号 ()方
	フリガナ氏名	オツ ノ ハル コ 乙野 春子 平成 令和 〇年〇月〇日生 (〇〇歳)
養子となる者の父 (実父)	住所	〒000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町0丁目0番0号 ()方
	フリガナ氏名	オツ ノ タロウ 乙野 太郎 昭和 平成 〇年〇月〇日生 (〇〇歳)
養子となる者の母 (実母)	住所	〒000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町0丁目0番0号 ()方
	フリガナ氏名	オツ ノ ハナ コ 乙野 花子 昭和 平成 〇年〇月〇日生 (〇〇歳)
※1	住所	〒 - 電話 () ()方
	フリガナ氏名	昭和 平成 年 月 日生 ()歳
※1	住所	〒 - 電話 () ()方
	フリガナ氏名	昭和 平成 年 月 日生 ()歳
※2 を 受 け た 機 関 等	住所 (所在地)	〒000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町0丁目0番0号
	フリガナ氏名 (名称)	00児童相談所

※1 養子となる者に実父母のほかに養父母がある場合には、それぞれについて、養子となる者に未成年後見人、父母以外で親権を行う者（父母が未成年であるときのその父母又は未成年後見人、審判前の保全処分によって選任された親権者又は未成年後見人の職務代行者、児童福祉法第47条第1項又は第2項の児童福祉施設の長等）又は監護者がある場合には、これらの者について、かっこ内に養子となる者との関係を特定した上、所要事項を記入してください。

※2 児童相談所又は養子縁組をあっせんする事業を行う者からあっせんを受けた場合に記入してください。
なお、審判の結果は、当該機関等にも通知されます。

すでに養子縁組をしている養子がいる場合は、その養子も含めた人数を記入してください。

(別紙)

申立人らの生活状況等		
	養父となる者	養母となる者
職業 (勤務先)	〇〇株式会社	主婦
収入等	月収(平均) 30 万円くらい 主な資産等 預金200万円, 有価証券	月収(平均) 0 万円くらい 主な資産等 預金100万円
子の有無	① 無 2 有 (男 人 女 人)	① 無 2 有 (男 人 女 人)
婚姻の日	昭和 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 令和	
住宅事情	1 自宅 ② 社宅等 3 アパート 4 借家 5 その他 ()	
同居家族等 (氏名, 続柄, 年齢)	(申立人ら, 養子となる者を除く) 甲山秋子(申立人 甲山乙郎の母, 65歳)	
養子となる者 の通園・通学 先又は勤務先	〇〇幼稚園	
養子となる者 の監護の有無 (申立時)	申立人らによる養子となる者の監護状況 ① 有: 監護開始年月日 平成・令和 〇〇 年 〇 月 〇 日 (監護開始時の子の年齢 〇 歳 〇 月) 2 無: 監護開始予定日 平成・令和 年 月 日	
監護の経緯	申立ての理由に記載のとおり	
※4 監護状況等	<p>春子の健康状態は、たまに風邪をひくことはあるものの、おおむね良好である。</p> <p>申立人らは春子を実子同様に扱い可愛がると同時に年齢に応じたしつけもするように心掛けている。</p> <p>春子の心身の発達状況は順調であり、良好な家族関係が形成されている。</p> <p>春子も申立人らとの縁組について希望している。</p>	

※4 監護状況等については、養子となる者の縁組についての意向(意向を確認していない場合は不要)のほかに、ア 養子となる者に対する健康上の配慮、教育的関心及び配慮等、養子となる者との情緒的交流及び親密さの程度、イ 養子となる者の心身の発達の経過、同居後の家庭の人間関係と雰囲気、ウ 今後の監護教育についての意向等を記入してください。なお、この申立書は、利害関係人が閲覧や謄写をすることがありますので、その点にご留意のうえ、簡潔に記載してください。

申立書等の提出先について

提出先は、養親となる者の住所地を管轄する家庭裁判所です（分からないときは、最寄りの家庭裁判所にお尋ねください。）。

申立て後の手続について

申立てを受けた家庭裁判所は、申立てについて審理するために申立人、その他の関係者に事情をお尋ねする場合があります。裁判所からの照会や呼出しには必ず応じてください。

申立てについて、分からないことがありましたら、下記にお問い合わせください。

問い合わせ先